

【論点1】重点的に都市計画上の方策を講じるべきエリア

《検討の視点》

- 「都市計画マスタープラン」で掲げている都市計画の方針や地域の将来像とのギャップ
- 土地利用状況の変化
- 都市基盤整備の状況



【検討に向けた3つのポイント】

第1回
御意見

- 京都駅周辺に都心をもう一つつくり、さらにそこでクリエイティブな活動が可視化されると拠点が増えてくるのではないかと。
- 南部は単に市場原理だけではダイナミックな変化は起きない。戦略的に仕掛けを準備する必要がある。

都市マス
拡充

- 京都の都市格と地域経済の活性化につながる商業・業務機能の誘導（京都都市圏の中核としての求心力向上）

①都市格の向上により高まった都心部の熱を受け止める新たな拠点の形成

第1回
御意見

- 東部や南部の地域中核拠点エリアにおいて若年・子育て層の転出が目立つなど、駅周辺でありながら人口が流出している状況を捉え、議論を進めていくことが大事。
- 若者が京都に愛着を持ち定住してもらうために、雇用面と住環境を整えることが大事。京都は特に住環境が弱い。

都市マス
拡充

- 若年・子育て層のニーズに合った居住環境の充実
- 工場の操業環境を維持しつつ、生活利便が整った居住環境の創出

②京都の未来を支える若い世代に選ばれる居住環境の創出

第1回
御意見

- 久御山町の「みなくるタウン構想」や向日町駅周辺の開発等、近隣市町は積極的に動いている一方で、京都市でも新たな取組を展開していかないと取り残されてしまう。
- 「創造・再生ゾーン」のポテンシャルを引き出すためには、近隣市町との関係を考えていくことが大事。

都市マス
拡充

- 市境における都市計画の一体性の向上・相互効果の発揮
- 将来的に整備予定の都市基盤の戦略的な活用

③隣接市町の都市開発や将来的な都市基盤整備との連動による一体的・連続的なまちの形成

【論点2】各エリアの都市計画上の課題と対応の方向性

《検討の視点》

- 駅等の各地域の拠点において、魅力や利便性は十分か？
- 過去に整備した都市基盤の効果が十分に発揮できているか？
- 現行の都市計画規制（用途地域、容積率、高さ規制等）が各地域の特性やポテンシャルに見合ったものとなっているか？

